

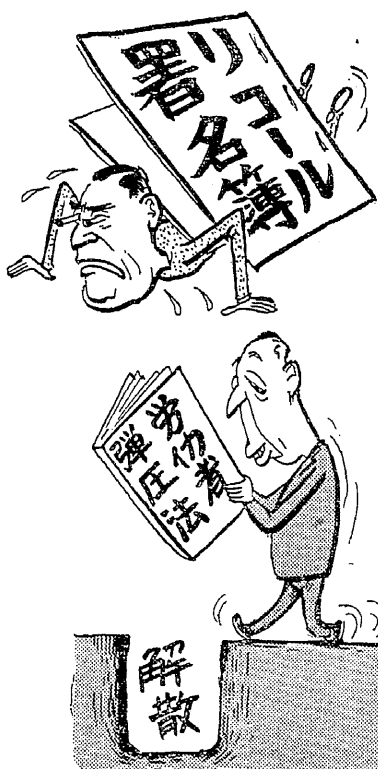
リコール宣言

自民党代議士殿
私が知事をやめさせられたらボロがまだ出て、自民党は次期改選で不利であります。

土屋

讀書の秋

吉田茂君は「銭形平次捕物帳」
鳩山一郎君は「聖書」
石橋湛山君は「宗教入門」
岸信介君は「労働者弾圧法」



犬猿の仲

ノ連が犬で実験すれば——
アメリカとしては猿で成功してみせる。



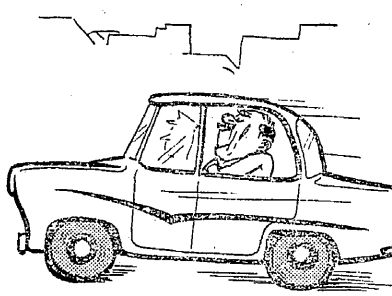
身をもつて教える

子—これで社宅といえるの
父—だから福利厚生闘争を起しているのだ。



お重役様

重役 どうちやね。こんどは五
八年型を買うか。ガタガタ
の車は保安上アピナイネ—



団結の美を知る

境オルグからの現地ルポ

件闘争のオルグとして再び十月三十一日より現地に行き、組合員とともに社宅に寝食をともに働いている機務部長より、スト解決報告大会の様相を次のようにルポとして寄せて来た。

九十六日ぶりに解決を見た。十一月六日午後一時から秋空の青ニスコート広場で長期ストに耐えぬいた四千の組合員と家族が喜び報告大会が開かれた。

九月六日闘争をやり、カンパの握り飯を食い、労働歌をうたうてデモをやリ、渠会を擁護会社の務しである蘭山宣言によつて学習会をやリ、ボタ山の草を踏む繋つていた夏から秋風の音を聞き冬を迎えようとする今日まで第一と団結を守リ、疲労の仲間達に支えられ、顔も名前も知らない全国の労働者に励まされ、闘いつつて来た顔が、手に赤旗を掲げ、鉢巻をして緊張している。

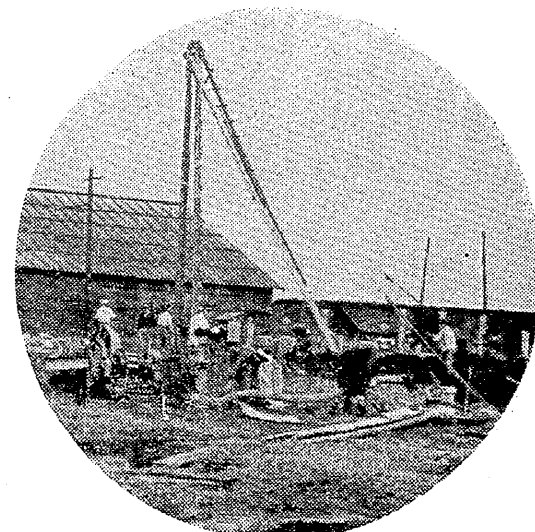
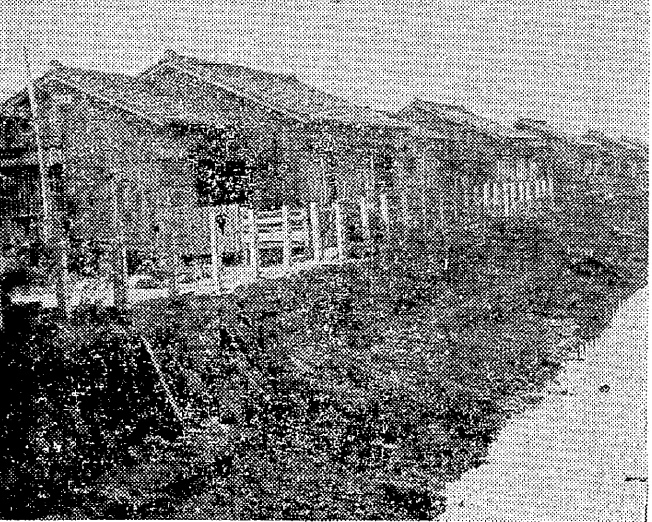
十六日である。
今、私たちの手には元のままの現職が残っている。いや会社のデマや分裂工作に陥れず九十六日闘争の美を知る。
日闘は抜いた強い組織が残っている。
又私達は闘いで借金をしている。この借金は返さなければならぬ。

地域活動の実り

大谷の道路が復舊

大谷地域分會(分會長 中村人治氏)では九号台風や大雨後地域で緊急対策委員会を設け、この復旧について協議を交し、まず危険な箇所を修理を会社にやらせることを合せて闘う労働者の美しさを知ってもらえたことはよりよいことだと思つた。

上大谷社宅災害当時の道路
中同場所がこんなきれいなになりました
下四山社宅に出来た柵



三鉢一の講堂着工

港務支部生産会議で獲得

「進駐軍ステーション」何と素晴らしいスマートな名前である。これが「みなと三池」港務所従業員の、家族五千人の慰安の場所である。

柵ができたぞ

次は橋を造つてくれ

四山社宅の北側早米山附近は、これまでサグがなく、子供が落ちたり、危い場所として心配されて地域でも度々問題となり、こんな福地建設の要求にも橋づくりとあわせて出すことになつて来たが、これも団交までゆかず、支部の福利施設としてこの橋と約半分の百メートル位がデシヤリと対策が設けられ、立派な道路ができています。ちよつと心配なのは石垣となつたので子供たちがこころをなやませる必要がある。手すりのこともこの問題はすいぶん前から心配されてきた。

患者食まで試食

世話役に張切る政治局員

世話役に張切る政治局員
合員家族の入院患者と懇談会を行つた。

患者食まで試食
立病棟入院患者の要望もあり、植